

情報公開文書  
2025年10月14日作成

1. 鎮痙剤不使用時の女性骨盤MRI T2強調像撮像シークエンスの最適化
2. 倫理審査と許可  
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名  
主な研究機関：京都大学大学院医学研究科  
研究責任者：放射線医学講座（画像診断学・核医学） 教授 中本裕士
4. 研究の目的・意義  
鎮痙剤を使用しない女性骨盤MRIにおいて、Deep learning reconstruction(DLR)を用いたTSE (DLR-TSE)、HASTE (DLR-HASTE)、Fast BLADEという3種類のT2強調像の画質を比較し、より良好な撮像方法を検討することを目的としています。本研究により、鎮痙剤非使用時に最適なシークエンスを撮像することで良質の画像を提供することが可能となり、鎮痙剤が禁忌・慎重投与の対象となる患者さんに有益と考えられます。
5. 研究実施期間  
研究機関の長の実施許可日から 2026年12月31日まで
6. 対象となる試料・情報の取得期間  
2025年1月1日から2025年8月31日の間に、京都大学医学部附属病院放射線診断科にて、鎮痙剤非使用で骨盤MRIを撮像された女性の患者さん。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法  
鎮痙剤非使用で女性骨盤MRIが撮像された方のMRIを用いて、DLR-TSE、DLR-HASTE、Fast BLADEとの画質の比較を行います。
8. 利用または提供する試料・情報の項目  
京都大学医学部附属病院で撮像された女性骨盤MRIとその施行日、撮像時の年齢、臨床診断及びMRI撮像目的を、個人が特定できない形で使用します。
9. 利用または提供を開始する予定日  
研究機関の長の実施許可日以降
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名  
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）  
研究責任者：教授 中本裕士
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）教授 中本裕士
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法  
下記の15の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。
13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の患者さんの個人データを取得することはできませんが、研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本研究に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 15 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

研究資金の種類：大学運営費交付金

提供者：京都大学

2) 提供者と研究者との関係

京都大学は研究の企画、運営、解析、論文執筆などに直接関与しません。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者等からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 放射線部

助教 樋本 祐紀

(Tel) 075-751-3760

(E-mail) yhimoto@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748

(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp